

2016年5月21日午後14時～17時

## 第41回日本自殺予防シンポジウム

主題「あらためて自殺予防電話相談の役割を問う」

自殺予防はみんなの仕事 (Suicide Prevention is everyone's Business) と言われるように自殺予防目的の電話相談の開始から半世紀が経過、精神保健における危機介入理論と共に、専門・非専門を越えた市民参加型のコミュニティ活動として、世界に拡大されてきた。またインターネット・SNSなど、メディアの多様性が広がる中で、我々の役割を再考しよう。

挨拶：日本いのちの電話連盟理事長 堀井茂男 コーディネーター：齋藤友紀雄



講師：Prof. Brian Mishara Ph.D. (ブライアン・ミシヤラ教授、カナダ)  
モントリオール・ケベック大学心理学教授兼同大学付属自殺予防・安楽死研究所長。自殺予防と危機介入分野ではカナダを代表し、国際的にも知名度の高い研究者であり、多くの著作や論文をもって知られている。カナダおよび国際自殺予防学会会長を歴任してきた指導力は高い評価を得ている



講師：Vanda Scott (ヴァンダ・スコット, フランス)  
英国出身で、英国サマリタンズはもちろん、ヨーロッパにおける国際危機介入電話相談連盟 (IFOTES) などの非政府機関 (NGO) で、自殺予防と電話相談活動の中核的な役割を果たしてきた。現在オクスフォード大学ケアセンター理事長。国際リングル賞・大英帝国勲章受章者



講師：伊藤みどり (Pi-Yu Liang, 梁碧玉) 台湾生出身、ソーシャルワーカーとして携わり、1977年国際結婚のために来日。1990年日本で初めての母国語 (台湾語、北京語) によるいのちの電話、「関西生命線」を設立。電話相談を中心に面談カウンセリングも実施。1997年大阪市きらめき賞受賞をはじめ、多くの賞を受賞。2009年から大阪産業大学非常勤講師を勤める。



講師：Vickie Skorji (ヴィッキー・スコージ) オーストラリアのモナッシュ大学でカウンセリング分野の修士資格を得て、さまざまな心身障害家族の支援に従事、2004年以来、東京英語いのちの電話 (TELL) 事務局長として、自殺予防、文化不適應、ストレス・マネジメントなどの活動を統括するとともに、彼女自身もセラピストとしての役割を果たしてきた。

日本自殺予防学会・日本いのちの電話連盟共催

(いのちの電話相談員は無料)

厚生労働省補助事業